



広報

あおき

Public Information



しあわせ信州



8

No.461

2017.8.1

好きだよ！ 青木村

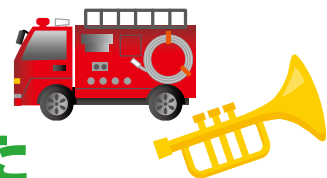
青木村ホームページ
村長へアクセス

<http://www.vill.aoki.nagano.jp/>
(E-mail) m-kitamura@vill.aoki.nagano.jp

■青木村の人口/4,434人 ■世帯数/1,736戸(平成29年6月30日現在)

●発行所 / 青木村役場 ●編集 / 広報編集委員会 ●印刷 / 中沢印刷(株)
長野県小県郡青木村大字田沢 111 番地

青木村消防ポンプ操法大会、 消防ラッパ吹奏大会が開催されました



6月18日(日)、青木村消防ポンプ操法大会、ラッパ吹奏大会が総合グラウンドにて開催されました。

天候にも恵まれ、ポンプ操法、ラッパ吹奏それぞれ日頃の練習の成果を披露しました。成績は次のとおりです。

第54回 青木村消防ポンプ操法大会競技成績 【小型ポンプ操法】

優勝	第1分団A	減点30.50点
準優勝	第2分団B	減点47.75点
第3位	第2分団A	減点49.75点
技能賞	第1分団A	当郷部 西沢靖行さん
技能賞	ポンプ車	下奈良本部 多田雄二さん

第38回 青木村消防ラッパ吹奏大会競技成績 【個人の部】

優勝	第2分団沓掛部	菅原将仁さん	185.15点
準優勝	第1分団村松部	相澤良通さん	179.30点
第3位	第1分団村松部	松田和也さん	178.75点
努力賞	第1分団当郷部	西沢美絵さん	175.40点
努力賞	第2分団入奈良本部	堀内 勉さん	174.70点



迫力ある筒先



小型ポンプ優勝 第1分団A



小型ポンプ準優勝 第2分団B



未来を担うあおきっ子



感動と気概のある演奏



ラッパ吹奏 優勝・準優勝・第3位



上小消防大会

7月9日(日)、上小消防大会が6年ぶりに青木村で開催され、村からもポンプ操法、ラッパ吹奏それぞれ代表者・チームが出場しました。小型ポンプ操法の部では、第1分団が第3位と、快挙を成し遂げました。成績は右のとおりです。

ポンプ車操法の部

青木村消防団 6位

ラッパ吹奏団体の部

青木村消防団 6位

小型ポンプ操法の部

第1分団 3位

第2分団 8位

ラッパ吹奏個人の部

菅原 将仁さん 7位

相澤 良通さん 8位



健闘した団員一同



ラッパ吹奏団体



ポンプ車チーム

資源ごみの分別についてお願い

資源ごみについては毎月第2土曜日に回収しており、資源の再利用と可燃ごみの大幅な減量につながっています。これも、村民の皆さまの分別と資源化への意識の高さのあらわれであると思います。今後ともごみの減量、資源化にご協力頂きますようお願い致します。

○資源ごみの分別のポイントは以下の通りです。

◆ダンボール・新聞・雑誌・その他の紙はそれぞれ分けて◆



A

断面が波型のものは「ダンボール」へ。菓子箱等にも同様の構造のものがあるので注意が必要です。



B

新聞と雑誌・書籍等は別々にしてください。崩れないようにひも等で十文字にしっかりとしばってください。



C

その他の厚紙・雑誌について、大きなものは新聞同様ひもでしばって、小さなものは使用済の封筒等に入れるなどしてください。

長野県では「チャレンジ800」と題してひとり1日当たりのごみ排出量を800グラム以下を目標にごみの減量化を進めております。環境省のまとめた平成26年度の都道府県別ひとり1日当たりのごみ排出量で長野県は838グラムで全国で最も少なくなっています。皆さまのご協力を頂きながら更なるごみの減量化をすすめ、引き続き全国1位の座を守りましょう！

平成29年度 8月のくみ取り休業日について

お盆期間中のくみ取りについて
右記のと通りの日程となります。

- 8月11日(金) 操業(祝日ですが操業します。)
- 8月12日(土)～8月16日(水) 休業
- 8月19日(土) 休業(8/11と振替で休業します。)

～青木村地域自然エネルギー研究協議会 経過報告④～

昨年度から、村と商工会、村内企業、金融機関、大学などが連携して、新たな産業や雇用創出、若い世代のエンジニア育成を目的に、平成28年4月に青木村地域自然エネルギー研究協議会を立ち上げました。これまでの取り組みと平成29年度の取組予定について報告をいたします。



あいさつする関会長(元東海大学総合科学研究所長)



研究協議会

～第4回 研究協議会開催～

平成29年7月4日(火) 第4回の青木村地域自然エネルギー研究協議会が開催されました。平成28年度事業経過、平成29年度事業予定、小水力・太陽光を組合わせた第二号試作機と実証実験を行う予定地の見学を行いました。

～小水力・太陽光発電システム実証実験～
平成二十八年度、風力・太陽光、小水力・太陽光の二基の試作機を製造しました。風力・太陽光を組合わせた第一号の試作機は、平成二十九年二月に道の駅あおき内にエネ空あおきタワーとして実証実験を開始しています。今後は小水力・太陽光を組合わせた第二号試作機の実証実験をリフレックスパーク内の水路を改修して行う予定です。



平成29年度の事業内容

- ・実証実験データを受けて改良試作機の製造
風力・太陽光、小水力・太陽光 各1基
- ・エネ空あおきタワー 発電量表示モニター設置
- ・地域の理系学生、海外留学生等インターンシップ
- ・海外実証実験の計画推進



第2号試作機設置予定地



小水力・太陽光を組合わせた第2号試作機

今月のおこしごと

いつの間にか夏は来ていた

カラ梅雨で気づかぬうちに夏になっていたようです。
去年こんなに暑かったっけ？と毎年言っている気がします…



●最近の除草事情

耕作放棄地の利活用と持続可能な農業推進活動の一環として始めた、農薬・化成肥料・除草剤を使わない米作り。除草剤を使わないので除草作業が必要です。

最近主流の初期除草の方法にチェーン除草があります。田植え後、まだ草が出てこないうちに行うのがポイントです。いろいろ工夫を凝らしたチェーン除草機があるようですが、我が家は竹に軽トラのタイヤチェーンを付けただけの簡単構造。当初2本だったものを昨年3本に増やしました。これにロープをつけて田んぼを引きずります。幅が1mほどしかないので一度に3条間しか除草できません。今年お借りしている田んぼの近所の方から不要になったタイヤチェーンをいただいたので、来年は幅を倍にして6本のチェーンを引きずろうかと思っています（重くて引っ張れないかな？）。先月の広報あおきに書いたスクワット田植え法と併せて除草競技大会なんて開催できたら面白いですね。

チェーン除草と並行して昔ながらの田打ち車（通称：コロバシ）でも除草に入ります。昨年、柄の部分が折れてしまい今年はもう一つの田打ち車を使用、なんとこちらも壊れてしまいました。接合部の穴が大きくなってしまったようで…簡単に直せそうもありません。使わなくなったコロバシをお持ちの方がいたら役場までお知らせいただけると助かります。



●東京農大 in 青木村 2017

昨年に引き続き、今年も東京農業大学の皆さんの青木村研修が始まりました。6月、7月と青木村の農家さんでの農業体験をしています。役場農技連のエゴマ播種・定植、ニンニクの収穫・出荷調整作業もお手伝いいただきました。学生の皆さんとの会話の中で「青木村での就農」や「地域おこし協力隊」も進路の選択肢として考えているとの嬉しい話もありました。われわれの任期が3月までなので後任のおこし隊として青木村に移住して来てくれる方がいると良いですね。8月も来村されますが、また伝統の大根踊りを披露してくれるそうです。お楽しみに!!



農業委員会だより

第7号

編集／青木村農業委員会
農業委員だより編集委員会

退任あいさつ



第二十二期農業委員会

会長 増田 良和

第二十二期農業委員は本年七月十九日で退任となりました。退任にあたりご挨拶申し上げます。

十一人で構成された第二十二期農業委員は平成二十六年七月二十日に任務に就き本年七月十九日で退任という任期でありました。

この三年間皆様にはお世話になりました。おかげさまで無事退任の日を迎えることとなり感謝無量です。

顧みれば一九五一年に発足され六十六年間続いた農業委員会組織・制度は大転換を迎える事となりました。

国内の農業委員会は公選では定数に満たない委員会が数多くなってきたおり、又、耕作放棄地の増加が著しいこの現況を問

題点として捉えた国は、農地法と農業委員会法を改正しました。今後は農業委員と新たに設置される農地利用最適化推進委員が連携し合つての業務となります。さらに選出方法は今までの公選制が廃止となり、地域等からの推薦と公募を実施し、その後議会の承認を得ての市町村長の任命制へと変更されました。

次期農業委員会より、このような改選を受けた新たな組織として活動していくこととなり、活躍が期待されます。

この第二十二期農業委員会では任期中に農地法第三条申請（農地の権利移動）に係る下限面積を30aから10aへと引き下げました。これにより農地が求めやすくなり、耕作放棄地の減少に繋がったのではないかと確信しています。また、農業委員会だよりを広報あおきにて掲載し始め、委員会の活動等を記事にし村民の皆様の目に触れる機会を作りました。農業委員会だよりは継続していただきたいと思ひます。

又全国はもとより青木村でも農業者の高齢化、担い手不足といった問題が懸念材料であり、対策を講じていく必要があります。加えて耕作放棄地の増加も目立つ中ですが、新たに活動さ

委員紹介

平成29年7月20日(木)より、委員改選により新たな顔ぶれにて農業委員会が始動しました。また、農地利用最適化推進委員という組織が新たに設置されました。今後はこの2組織で連携し合つて活動していきます（任期3年）。

青木村各地区の委員紹介

◎農業委員

当郷	北村	民雄
村松	宮下	勇一
	沓掛	忠人
中村、中挾、青木	塩澤	正隆
入田	沢	若林
		忠利
下奈良本	松倉	秀男
入奈良本	堀内	藤雄
沓掛	山浦	猛
夫神	上田	洋平
細谷	金井	成夫
	工藤	章訓
殿戸	花見	雄二

◎農地利用最適化推進委員

当郷・村松区域	北澤	栄一
大字田澤区域	林	万雄
下奈良本・入奈良本・沓掛区域	沓掛	弥澄
夫神・細谷・殿戸区域	小林	秀樹

農業・農地のことならお気軽にご相談ください！



れます次期農業委員組織の皆様においてはこのような困難な諸課題の解決に少しでもに繋がるようご尽力をお願いしたいと思います。

最後にこの三年間村の皆様又

事務局の皆様には大変お世話になりました。

厚く御礼申し上げます。青木村のますますの発展と農家の皆様のご健勝とご活躍をご祈願申し上げ退任の挨拶とします。



住民福祉課

わくわく広場のお知らせ

未就園のお子さんとお母さんを対象とした「わくわく広場」を開催します。

今月は「楽しんで子育て・子どもの遊び②」がテーマです。芹澤文字先生をお迎えし、お子さんの力を伸ばすために大切な遊びについてのお話をお聞きして、一緒に楽しく遊びましょう。皆さんの参加をお待ちしております。

日時 八月二十二日(火)

午前十時～十一時半

当日は九時四十五分までに集合してください。

場所 保健センター

持ち物 お子さん用の飲み物

(麦茶等)

参加を希望される方は八月十七日(木)までに、住民福祉課保健師までお申し込みください。

情 四九―三三三―
☎ 四九―〇一一―

男性の料理教室のお知らせ

「男性の料理教室」の第五回目を開催します。家でも作れる内容で、料理のレパートリーが広がります。男性の方で料理に興味のある方は、ふるってご参加ください。

●第五回

日時 八月八日(火)

午前十時～午後一時

場所 保健センター

栄養指導実習室

参加費 五百円

持ち物 エプロン・三角巾・タオル

参加を希望される方は、八月四日(金)までに、住民福祉課保健師までお申し込みください。

情 四九―三三三―
☎ 四九―〇一一―

今月の納税口座振替日

信州うえだ農協・郵便局

8月25日(金)

その他の金融機関

8月31日(木)

残高の確認をお願いします。

高齢者肺炎球菌予防接種のお知らせ

肺炎は日本人の死亡原因の第3位となっています。肺炎は様々な細菌やウイルスが体に入り込んで起こる肺の炎症ですが、成人の肺炎のうち4分の1から3分の1は肺炎球菌が原因と考えられています。

からだの抵抗力(免疫力)が弱まったときなどに感染を起こしやすく、普段元気に暮らしている方でも、持病の悪化や体調不良などをきっかけに感染する可能性があります。肺炎を予防するには、一般的な感染予防のうがい、手洗い、マスクの着用、規則正しい生活と禁煙の他に予防接種があります。

村では、下記の対象者のうち、**高齢者肺炎球菌の予防接種を希望される方へ、接種料金の助成を平成30年3月31日まで実施**しています。

1. 接種料金の助成対象となる方(青木村民)

- ①今年度65歳、70歳、75歳、80歳、85歳、90歳、95歳、100歳になる方で接種を希望される方。
- ②接種時の年齢が60歳以上65歳未満の方で、心臓・腎臓・若しくは呼吸器の機能・又はヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に障害がある事で、1級の身体障害者手帳をお持ちの方、若しくは診断書等により同程度の障害があると認められる方で接種を希望される方。

2. 実施方法▶ 指定協力医療機関で個別接種

3. 接種料金▶ 自己負担2,000円

①の対象者には個人通知でお知らせしました。接種に関するお問い合わせや、②の該当者で接種を希望される方は住民福祉課保健師までご連絡ください。

【お問い合わせ先】 住民福祉課

☎ 49-0111 情 49-3132

心の健康相談のお知らせ

心の悩みに保健師が応じる「心の健康相談」を行います。

相談日 八月 八日(火)

八月二十四日(木)

時間 午後一時半～四時半

場所 保健センター

予約制(各回一人～二人)で行います。希望される方は相談日の前日までに、住民福祉課保健師までお申し込みください。

情 四九―三三三―
☎ 四九―〇一一―

介護者のつどいのお知らせ

八月十七日(木)午後一時～午後三時まで「介護者のつどい」を行います。

宮原栄養士さんによる「栄養のお話」と、「おやつづくり」を行います。

ご家族を介護されている方で参加、送迎を希望される方は八月十日(木)までに、地域包括支援センターまでお申し込みください。

情 四九―一一一〇
☎ 四九―〇一一―



青木村 燃やせるごみ排出量

	平成29年分	平成28年分	前年対比
4月	36,290kg	41,030kg	-4,740kg
5月	45,350kg	45,530kg	- 180kg
6月	40,760kg	37,510kg	+3,250kg
計	122,400kg	124,070kg	-1,670kg

参加、送迎を希望される方は前日までに、地域包括支援センターまでお申し込みください。

☎ 四九〇二二一
情 四九一二二〇

●第六回
日時 九月五日(火)
午後一時半～三時半
場所 文化会館 講堂
持ち物 水分補給のための飲み物

概ね六十歳～七十九歳の方を対象に「認知症予防」「転倒予防」を目的とした教室を開催しています。

脳と体のストレッチ
教室のお知らせ

無料

木造住宅耐震診断を実施します

青木村では、近い将来発生が予測されている大規模地震に備え、古い建築基準で建てられた木造住宅について、希望される方に無料で耐震診断を行ないます。

またその結果、危険と診断された方で耐震補強工事を希望する場合は、耐震補強工事を行うことを前提に、精密耐震診断を行い、工事費用の一部を補助します。

(申込順で定数となった場合は、次年度以降の実施となる場合があります。)

耐震診断の対象となる建物は、次のすべてに該当する住宅です。

- 昭和56年5月31日以前に建築工事に着手した住宅
 - 個人所有の1戸建ての住宅
 - 在来工法の木造住宅
- (ツーバイフォー・非木造は含まれません。)

【お問い合わせ先】 商工観光移住課

☎ 49-0111 情 49-3131

商工観光移住課

社会福祉協議会から 義援金のご報告

6月11日(日)に開催されました第28回村民ゴルフ大会において、参加者個人から3,030円と、大会から21,142円の合計24,172円を災害の義援金としていただきました。義援金は、日本赤十字社を通じて被災地へ届けられます。

温かなご支援をいただきまして、ありがとうございました。

結婚相談

8月20日(日)

午後1時～4時
場所：老人福祉センター

司法書士 法律相談

8月3日(木)

午後1時～3時
先着4名・要予約
場所：老人福祉センター

教育委員会

スポレク祭2017秋の部
「あおむらで遊ぼう」開催

スポーツレクリエーション

また、追悼鳩山邦夫さん「舞姫たちよ、永遠に！」展は八月二十日(日)までの開催です。まだお越しでない方は、ぜひお出掛けください。

問 信州昆虫資料館
情・☎ 四九一三九八八

●蚕の繭から糸採り体験
古い座繰り機を使って、糸採り体験をします。また、真綿も作ってみましょう。

日付 八月十一日(金)

●フォルクローレ
コンサート
昆虫館庭にて野外ライブを行います。

日時 八月六日(日)
十六時～

持ち物 敷物・上着
参加費 三百円
(中学生以下は無料)

信州昆虫資料館からの
お知らせ

ン祭二〇一七 秋の部「あおむらで遊ぼう」を開催します。

今年もJ2で活躍中の「松本山雅FC」のアンバサダーが来場します。今年はサッカー教室をメインに行なう予定です。(サッカー教室に参加を希望される方は事前に申し込みをお願いします。*小学生限定)また、ニュースポーツ体験、とっかんや綿あめのふるまひも行います。大勢の皆さんのご来場をお待ちしております。

なお、今年も一つの会場で行います。

日時 九月十日(日)
十三時三十分～
十五時三十分

内容 総合グラウンド

●ニュースポーツ体験

(ストライダー・ストラックアウトの予定)

●魚つかみ

十三時から受付を開始し、先着二百八十名限定となりますので、希望される方はお早目にグラウンド内の受付までお越しください。



●松本山雅FCのアンバサダー来場

(十三時四十五分～十六時)

十三時から受付開始です。

教室参加者は先着五十名、

小学生限定となりますので、

希望される方は小学校に配

布されたチラシに必要事項

をご記入の上、教育委員会

までFAXにてお申し込み

みください。その他のイベ

ントはどなたでも参加でき

ます。

問 教育委員会

情・☎ 四九一三二四

●郷土美術館からのお知らせ

●展覧会

武蔵野美術大学学生による

「絵画の義民展」

青木村は義民の村として

有名などころから、展覧会

のテーマを「絵画の義民」

としたユニークな展覧会。

どうぞお楽しみに。

期間 八月一日(火)～

二十日(日)

●コンサート

「狭山少年少女合唱団」

創立三十二周年の伝統あ

る合唱団による素晴らしい
歌声を音響のよい美術館で
お聞きください。

日付 八月二十六日(土)

時間 午後一時三十分開演

入館料 一般 二百円

学生 百五十円

(中学生以下は無料)

●スタンプリ

期間中にスタンプを集め

てプレゼントをゲットしよ

う。

「信州とあそび ミュージ

アム・スタンプリ」

期間 八月三十一日(木)

「真田歴史めぐりスタン

プリ」

期間 九月三十日(土)

※詳しくは文化会館・美術

館に置いてあるチラシをご

覧下さい。

●ワンコイン講座

「藍染講座」

青木村で育った藍の生葉

で大判ストールを染めます。

日時 八月十七日(木)

午前九時三十分～

十一時三十分

場所 美術館 喫茶室

講師 渡利 久江 さん

材料費 三千二百円

会費 五百円

(入館料、茶、菓子代含)

申し込み締め切り

八月十日(木)

問 郷土美術館

情・☎ 四九一三八三八

総務企画課

空き家等実態調査実施について

村では、今後の空き家等

の有効活用と適正な管理を

進めるため、空き家等対策

計画(仮称)の策定を進め

ています。平成二十七年八

月から十月にかけて、空き

家に関する実態調査を行

いました。その調査から約二

年が経過しており、現状を

再度把握する意味で、追加

の調査を行います。調査は

八月一日から九月二十九日

までの二か月間です。村の

職員又は、委託業者が調査

を行います。調査員は、身

分証明書と腕章をつけて調

査を行いますので、ご理解

とご協力をお願いします。

問 総務企画課事業推進室

情・☎ 四九一〇一一

役場職員を募集します【平成29年10月採用予定】

■職種及び採用予定人数

一般事務職員 行政経験者採用(若干名)

■採用予定年月日/平成29年10月1日

■試験の日時、場所及び内容

【選考】期 日:平成29年9月5日(火)

場 所:青木村役場

提出書類:作文、面接による選考

■年齢要件

昭和38年4月2日から昭和47年4月1日までに出生した方

■資格要件など

次の要件を全て満たす方

●高校卒業程度で、3年以上継続して国、都道府県または市町村の一般事務正規職員として勤務した経験がある方

●平成29年10月1日時点で青木村に居住している方、若しくは青木村へ通勤可能な場所に居住している方

による試験問題に対応できる方は、受験ができます。

■受験手続

●受験希望者は次の書類を総務企画課へ提出してください。

●受験申込書(用紙は役場で交付・村ホームページからもダウンロードできます)

●履歴書(市販の用紙により写真添付)

●卒業証明書

●健康診断書(通常の職務遂行に必要な健康度について、医療機関において本申込3ヶ月以内に作成されたもの)

■受付期間及び申し込み方法

平成29年8月1日(火)～平成29年8月10日(木)(必着)

総務企画課へ持参または郵送により提出してください。郵送の場合は、簡易書留などの確実な方法により郵送してください。

※身体障害者手帳の交付を受けている方も、自力で通勤でき、介助者なしに週38時間45分の職務遂行が可能で、活字印刷に

【お問い合わせ先】 総務企画課 総務係 ☎49-0111



高齢者活躍人材育成事業 『墓地清掃講習』受講生募集

講習名 墓地清掃講習
講習期間 10月2日(月)～10月3日(火)の2日間
対象 60歳以上でシルバー人材センターへ入会し就業等を希望される方
または、シルバー人材センターの会員
定員 15名(応募者多数の場合は選定させていただきます。)
講習場所 上田地域シルバー人材センター及び市内のお寺
受講料 無料
募集期間 8月14日(月)～9月15日(金)

【お問い合わせ先】
上田地域シルバー人材センター ☎23-6002

障害者自立生活セミナー 「精神障がい者として生きてきたこと ～これからは自分らしく～」

日時 9月9日(土) 13:30～15:30
会場 上田市ふれあい福祉センター 2階 大会議室
講師 大堀尚美氏
(「NPO法人ポプラの会」副会長兼事務局長)
対象 障がい当事者、ご家族、支援者、その他どなたでも
聞き手 広沢里枝子(「上小地域障害者自立生活支援センター・ウイング」ピア・カウンセラー)
参加費 無料
申込締切 8月31日(木)まで
※当日参加可能ですが、情報保障等の都合上、できるだけ事前にお申込みください。

【お問い合わせ先】
上小地域障害者自立生活支援センター・ウイング
(担当:広沢、中村)
☎0268-28-5522 FAX:0268-28-5520

公共職業訓練 『建設業人材育成課』受講生募集

期間 9月26日(火)～12月25日(月)(土日祝日除く)
訓練内容 建設業に関する基礎知識や小型車両系建設機械の操作や運転技能等の習得
申し込み 8月31日(木)までに、上田ハローワーク訓練窓口へお申し込みください。
選考会 9月12日(火) 午後1時30分～
その他 受講料無料。ただし教科書代等は自己負担。

【お問い合わせ先】 長野県工科短期大学校 ☎39-1111

そ
の
他

「地域戦略プロフェッショナル・ゼミ」 第4期受講生募集

本講座は「信州の未来学」と題し、地域のリーダー(ローカル・イノベーター)の育成を目的として、「中山間地域」、「環境共生」、「芸術文化」などの信州の中長期的な地域課題をテーマに、実践力の育成を図ります。

期間 9月16日(土)～2月10日(土)の間で全18回の講座
場所 県内各地
定員 最大30名
受講料 2万円(その他、交通費・宿泊費など実費がかかる場合があります)

申込締切 8月18日(金)
詳細はホームページ(<http://www.shinshu-u.ac.jp/institution/areas/>)をご覧ください。

【お問い合わせ先】
信州大学産学官・地域総合戦略推進本部
☎0263-37-2075

『ダイバーシティ経営セミナー2017 in Ueda』

経済のグローバル化や少子高齢化が進む中で、地域企業が競争力強化を図るためには、多様な人材が活躍できる組織創りが欠かせません。若者・女性・シニア・外国人など一人ひとりが能力を発揮することでイノベーション・価値創造に参画していくダイバーシティ経営の推進が求められています。

本セミナーでは、多様な人材の能力を最大限に引き出し、成果に繋げていく組織創りの実践事例をご紹介しますと共に、実践への第一歩となる場になる事を目的に開催いたします。

日時 平成29年8月24日(木) 13:30～17:00
会場 上田信用金庫「しんきんイベントホール」 上田市材木町1-17-12
対象 経営者・経営幹部・人事総務担当者向け、一般
内容 講演、地域企業による事例発表 他
参加費 無料
共催 東信州次世代産業振興協議会

詳細はホームページ『地域人材バンクながの(<https://jinzaibank-nagano.com/>)』をご覧ください。

【お問い合わせ先】 (一財) 浅間リサーチエクステンションセンター (AREC) ☎0268-21-4377



今月のおもな行事予定

1	火	脳と体のストレッチ教室⑤
2	水	母子相談・離乳食相談
3	木	保育園開放② 法律相談 健康相談
5	土	青木村夏祭り 希望保育
6	日	信州昆虫資料館 Folklore 野外コンサート
8	火	心の健康相談 男性の料理教室
9	水	筋力アップほきぼき教室⑤
10	木	長泉サマーキャンプ
11	金	長泉サマーキャンプ
12	土	希望保育 長泉サマーキャンプ
13	日	成人式実行委員会
14	月	お盆希望保育
15	火	お盆希望保育
16	水	お盆希望保育
17	木	介護者のつどい⑤ ワンコイン講座(藍染)
19	土	希望保育 小学生のためのおはなし会
20	日	結婚相談
22	火	わくわく広場
23	水	さわやか体力づくり 乳児健診
24	木	心の健康相談
26	土	希望保育 幼児のためのおはなし会
27	日	プール開放最終日(無料開放)
30	水	3歳児健診
31	木	図書館休館

※おもな行事のみ掲載しておりますので、詳しい内容・掲載されていない行事については、生涯学習カレンダーをご覧ください。各担当へご連絡ください。

上級救命講習会のお知らせ

救急車は、119番通報を受けてから現場に到着するまでに、平均で約9分かかります。

救急車が到着するまでの「空白の時間」に、その場に居合わせたあなたが応急手当の知識と技術を持っていたら、大切な命を救うことができるかもしれません。

この講習会で応急手当の正しい知識と技術を身につけ、いざという時のために備えましょう。

日 時 平成29年9月23日(土)

8時30分から17時30分

場 所 上田市材木町一丁目二番三号

中央公民館 3階大会議室

(☎0268-22-0760)

※駐車場には限りがありますので、公共交通機関の利用や乗り合わせ等のご協力をお願いします。

講習内容 心肺蘇生法(AEDの使用法を含む)、大出血の止血法、骨折の手当てなど

受講料 無料

募集人員 80名(定員になり次第、締め切らせていただきます。)

持ち物 実技のできる服装・筆記用具・昼食・飲み物・ハンカチ

申し込み 9月16日(土)までに、お近くの消防署で申込用紙に御記入いただくか、上田地域広域連合のホームページから申込書をダウンロードし、必要事項を御記入のうえ、お近くの消防署へ提出してください。

【お問い合わせ先】 川西消防署 ☎ 31-0119

〈八月〉青木の空模様「命にかかわる暑さ」

文責：岩淵 登喜夫

今年の8月は太平洋高気圧が強く、晴れの日が多く暑くなる予報。

海拔の高い山国の信州では30度を越し、風も弱く毎日同じような炎天下が続く真夏日(最高気温30℃以上の日)がいく日あるのか平年値を見ると、各地における真夏日日数は、長野県内で一番期間の長いのは下伊那郡泰阜村より南の55日以上、次いで40日以上が天竜川沿いと上田盆地から善光寺平、松本の平野部である。一方、避暑地で有名な軽井沢は4日、菅平・上高地ではほとんどない。東京は47日、横浜39日、新潟32日となっている。

長野県は内陸性気候であるので、標高差や緯度差をなくしても強い日射で、気温が沿岸部より高く、人体が感じる暑さは気温のみではなく、湿度・風・日射などの気象要素によって決められる。

暑さの不快を表現するものに不快指数があり、これは気温と湿球に係数を乗じて出した指数で、この値が75以上であれば人口の10%が不快を感じ、80になると65%、85以上になるとほとんどの人が不快となるといえる。

青木村は日中の気温は高いが湿度が小さい(8月の平均湿度東京80%、長野76%)ので、東京より蒸暑さが少ないことと、夜間の放射冷却により涼しさがあるため、不快指数は東京と比べてかなり小さく過ごしやすい。

しかし、この夏は暑くなるので熱中症に注意が必要で、日本では平成7年頃から熱中症患者が増加し、全国的に高齢者の死者が急増している。加えて高齢化の進行も不安材料であり社会問題になりつつある。

熱中症は気象各要素の予測値と熱中症患者の統計値により予防情報を日本気象協会が開発し、全国市町村ごとの熱中症予防情報をテレビ・ラジオ・インターネット・携帯電話で提供している。予防情報は1時間ごと48時間先まで、また、1週間先までの精度の高い情報であり、炎天下で活動するに人に大いに役立っている。

更に、労働、スポーツ時など条件に応じた独自の判断基準や自治体条例を作り、また、熊谷市では学校で気温や熱中症の観測をして独自の予防情報をメールで発信し、市ぐるみで住民の健康を守るという試みを行っている自治体がある。

「熱中症患の疑いある時は首筋を冷やすこと」



広報まゐと

出張版 Vol.3



国宝松本城

天守は国宝として指定され、城跡は史跡に指定されています。

松本城は、北アルプスの山々を借景にして建つ平城の天守で、その周りを三重の水堀が囲んでいます。現在日本には天守の建物を残す城は12しかありませんが、松本城では五重天守の実物をみることができます。

天守建物は、壁の上部を白漆喰、下部を黒漆塗りの下見板で覆っています。

外観は五重ですが、内部は六階になっています。これは三階に外から見えない階があるからです。

◆松本城VRを配信しています

松本城VR（バーチャルリアリティ）は、デジタルで再現された、江戸時代の松本城の情景をみることができるコンテンツです。スマートフォンやタブレット端末に、専用のアプリ『ストリートミュージアム』（無料）をインストールして松本城を訪れると、VRが体験できます。

◆8月のイベント

第36回国宝松本城「新能」	8月8日(火)
和服来場者入場無料事業	8月5日(土)～16日(水)
太鼓門特別公開	8月16日(水)まで

「ええっこ村」会員の中国訪問

ええっこ村は、国内外の青少年を農家に招き入れ、農村暮らしを体験してもらうことで、村の伝統文化や自然の素晴らしさ、食べ物の大切さを学んでもらおうと活動しているNPO法人です。

この度、日中国交正常化四十五周年にあたり、中国の青少年・留学生の受入活動が評価され、中国大使館の招待を受け、六月九日(金)から六月十六日(金)まで北京・成都・上海を訪れました。

出発前日の中国大使館での壮行会に始まり、歓迎会・交流会・視察・見学と多彩な行事が組まれ、熱烈な歓迎を受けました。

中国との友好は、今の中国に接し、人々との触れ合いから相手を知ることと始まることを改めて感じた旅となりました。今回の訪中で、隣国中国との相互理解を一層深めていこうと考えています。

(会員 小林憲一記)

交流会



壮行会/歓迎会/ええっこ村参加者



都江堰（2300年前に作られた水利施設）



〈ええっこ村 平成28年度受け入れ実績〉 ホームステイ：1,099人、日帰り：572人、計：1,671人

高齢者クラブ連合会

「夏季保養会」開催

高齢者クラブ連合会では会員に夏を元気に乗り切ってもらおうと、七月六日(木)、「夏季保養会」を老人福祉センターで開催し、二百名余りが参加しました。「アルファ・クラブ・バンド」によるサキソフォン、ギター、ベース、ドラムの4人のメンバーの演奏は懐かしい歌謡曲から洋楽まで軽快に披露してくれました。また藤華社中による舞踊には、村松地区の「こまゆみ会」のみなさんにも出演いただきました。見事で艶やかな踊りを楽しむことができ、この夏を乗り切る元気が湧いてきました。



子供自転車長野県大会に参加!

子供自転車長野県大会が七月八日(土)、松本市総合体育館で開催され、青木小学校自転車クラブの子ども達が参加しました。

選手たちは、元気良く、はつらつとした走行を行い、三カ月の練習の成果を存分に発揮し、十三チーム中十位と健闘しました。



JR長野駅で青木村をPR

七月八日(土)・九日(日)の二日間、JR長野駅で信州フェアが開催され、県内各地の観光PRや特産品の販売が行われました。

青木村も参加し、トマトケチャップやコンパラジャム、みかえり漬けなど特産品の販売を通し、訪れたお客様に青木村の魅力を発信しました。

今回のイベントは、農産物直売所みかえりの郷に協力をいただきました。



わくわく広場で七夕飾りをつくりました!

未就園のお子さんとお母さんを対象とした「わくわく広場」を月一回開催しています。七月十四日(金)は、ミニ七夕飾りをつくりました。紙コップで作ったタコさんや、折り紙で作った太陽・輪つなぎを一人用のかわいい竹に飾りつけ、短冊に願い事を書きました。できあがった七夕飾りを見ながら、みんなでおやつを食べ、楽しい時間を過ごしました。



村営プールオープン

村営プールは七月十六日にオープンし、大勢の皆様にお越しいただいております。また、オープン初日の十六日には「青木村プールまつり」を行い、大勢の方にご来場をいただきました。

なお、村営プールは八月二十七日(日)まで営業予定です。ご家族・ご友人お誘いあわせの上、ぜひお越しください。

利用時間

● 午前の部
九時から十一時四十五分まで

● 午後の部
一時から四時三十分まで

入場料

● 大人(高校生以上) 二〇〇円
● 小人(中学生以下) 一〇〇円





内閣官房参与 浜田宏一氏 来村

道の駅あおき高機能拠点化プロジェクトや自然エネルギー発電システム開発プロジェクトなど地方創生に積極的な取組を行っている青木村へ、地方の実態を視察するため、内閣官房参与の浜田宏一氏が七月十四日(金)来村されました。



意見交換会

午前中の意見交換会では、村内外の団体の代表者から、地域の現状や課題について、説明と質疑が行われました。その後の現場視察では道の駅あおきや村内企業の工場などを見学されました。



エネ空あおきタワーを見学



村内企業の工場を見学

午後には、「アベノミクスと地方経済の将来」と題して、講演会が行われ、日本経済を取巻く環境や現状、アベノミクスの地方への効果についてお話をいただき、参加者からは、規制緩和や、国道一四三号の新トンネル整備に向けた質問・要望がありました。



講演会

東京農大七月研修行われる

東京農大の七月研修が十四日(金)十六日(日)まで行われました。沓掛温泉・リフレッシュパークの成り立ちや運営状況の調査、子檀嶺岳の自然・歴史散策に加え、農家研修では、ダリア・ぶどう・杜仲・野菜の農作業体験、村特産のニンニクの出荷調整作業を行いました。



その他、ワイン用ぶどう作りの理念と現状に関する勉強や、アスパラガスの模範的栽培管理と今後の方針について調査するなど、今回も盛り沢山の充実した内容に学生たちは大変満足している様子でした。年度末には村内で報告会が予定されています。

募集中!

美しい青木村二〇一八年度版 カレンダー用作品を募集しています

二〇一七年度版カレンダー作成では、多くの皆様にご応募いただきありがとうございました。今回も二〇一八年度版青木村オリジナルカレンダーに掲載する写真【風景・祭・行事・特産品など】を広く募集いたします。詳しい応募方法は役場・農産物直売所・文化会館等に置いてある募集要項をご覧ください。



「大法寺の春」 撮影者：小出ますみ
撮影場所：大法寺
(2017年4月撮影)



「かかし」 撮影者：西戸久則
撮影場所：村松
(2016年11月撮影)



「姉妹都市・長泉町をご紹介します」

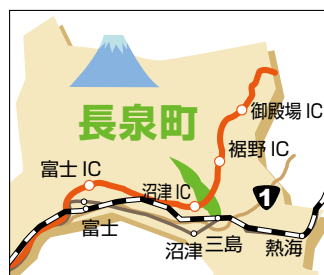
長泉町から

姉妹都市

HELLO!

問 長泉町役場・行政課

☎ 055-989-5500



駿東支部消防操法大会 ポンプ車操法・ 小型ポンプ操法の部で ダブル優勝！

7月2日(日)に、3市3町による駿東支部消防操法大会が御殿場市の高根ふれあい広場で開催され、町を代表し、ポンプ車操法の部に第1分団、小型ポンプ操法の部に第2分団が出場しました。この大会に向け町消防団全体が丸となり、4月から厳しい訓練を重ねてきました。結果は、ポンプ車操法・小型ポンプ操法の部、ともに優勝。このダブル優勝は、町消防団の歴史において、初の快挙です。



地産地消プロジェクト

味自慢 おらが村の味

レシピ.2

夏の暑さ乗りきる
カラフルドライカレー



材料(2人分)

- ① お米……………2合
- とうもろこし……………半分
- ズッキーナ……………黄・緑各半分
- ナス……………1本
- 玉ねぎ……………1つ
- パプリカ……………赤・黄各半分
- じゃがいも……………1個
- モロッコインゲン……………4本
- オクラ……………2本
- ハム又は竹輪……………お好みで

作り方

- ① 材料①をまぜて普通に炊く
- ② 材料②をそれぞれ1cm角に切る
注：なすは水につけてあくを抜く
- ③ 油をひいたフライパンに2で切った野菜を入れ炒める
- ④ 炒めたら水50ccを入れて火を弱め、材料③を入れて煮る。水気が無くなったら出来上がり!!

ワンポイント

残った野菜はオーブントースターで焼いた後、酢・砂糖・少々オリーブオイルに漬けて、ピクルスとしても1品!

カレー粉

- …小さじ1と1/2
- ※無ければカレールーひとかけをきざんで代用
- 塩……………一つまみ
- 砂糖……………小さじ1
- しょうゆ……………小さじ1



今月の食材

協力：御食事処 恵

笛と太鼓の彩で
御神輿を賑やかに

村松区では、夏祭り御神輿の巡行を地域の活性に繋げようとの思いから、本年はお囃子方(太鼓・笛等の鳴り物)を帯同し、御神輿巡行のために特別編成いたしました。

八月五日執行

お囃子方帯同巡行
村松神輿連

於 青木村夏祭り
初の試み 乞うご期待

お囃子方
(敬称略)

喜憂の欄については、
HP 上での掲載はしていません。

がんばれあおきっ子 将来の夢

青木小学校4年生

音楽会が終わりました。4年生は合奏「宇宙戦艦ヤマト」二部合唱「Wish～夢を信じて～」を発表しました。発表の際には、クラス全員で描きあげた宇宙戦艦ヤマトの絵を掲げ、宇宙に向けて夢を語りました。これからも夢を信じて前進していきます。

将来の夢1組



相澤颯良:絵がもっと上手になりたい
池田愛梨:バック転ができるようになりたい
池田啓慈:日本一周したい
上田弥希:バスケット選手になりたい
大角愛花:シェフになりたい
加藤理彩:ざっか屋さんで働きたい
佐藤 洸:いろんなお店やさんを開きたい
下形遼太:You Tuber になりたい
白勢 結:自分でお店を開いてみたい
津田拓夢:富士山に登りたい
中澤心芽:料理もドラムもできるようにになりたい
花城 空:看護師さんになりたい

早川ころろ:お医者さんになりたい
林 真広:世界一の料理人になりたい
林 鈴音:イラストレーターになりたい
本田咲良:ネコカフェで働きたい
増田蒼弥:バレーボールの選手になりたい
宮入聖太:サッカー選手になりたい
宮原ほかり:宇宙飛行士になりたい
室賀夢歩:マッサージ师になってみんなを笑顔にしたい
召田成心:You Tuber になりたい
山口直樹:小学校の先生になりたい
山崎初華:薬剤師になりたい
若林璃奈:犬やネコをすくう仕事をしたい

将来の夢2組



浅川大翔:野球選手になりたい
上野煌莉:看護師になりたい
上原茉莉:ピアニストになりたい
尾和結衣菜:保育士になりたい
国吉桜空:水族館の人になりたい
小林冬優人:サッカー選手になりたい
小林桃果:農業をやりたい
佐藤歩夏:ケーキ屋さんになりたい
佐藤美月:学校の先生になりたい
信太 葵:プロのダンサーになりたい
田中楓人:ユーチューバーになりたい
田中 夢:本を書く人になって世界の人を楽しませたい

西沢 煌:美容師になりたい
西澤永遠:外科医になりたい
林 真愛:獣医さんになりたい
増田友輔:プロバスケット選手になりたい
村田倫太郎:仮面ライダーになりたい
召田希心:ガラス屋さんになりたい
門司真歩:デザイナーになりたい
山崎愛斗:大工さんになりたい
横澤ころろ:薬剤師になりたい
横澤宗太郎:マジシャンになりたい
渡辺こみ:ダンスの先生になりたい
渡邊紗綾:学校の先生になりたい

真田氏と青木村

真田幸隆が独力で砥石城を攻略

砥石城は真田幸隆の地元であり、真田本城からは目の前にあり、当然幸隆の果たさなければならぬ役割が、あったはずである。

そこで問題となるのは、晴信から幸隆に与えられた書状である。

「其の方年来の忠信 祝着候、然者於本意之上、諏訪形三百貫并横田遺跡上条都合

千貫文処進之候・恐々謹言

天文十九庚戌 七月二日

晴信(花押)

真田幸隆

お前幸隆が数年来 私(晴信)に忠義を尽くしてくる事は大変嬉しいことだ「思い通りにいったら、諏訪形三百貫文と横田遺跡上条の地を合わせて千貫文の地をお前にやるぞ」という宛行状である。(注)これは晴信が松本平侵攻に出発する前日の天文十九年七月二日のことである。

この書状を手にした幸隆は真田の地に帰郷した幸隆の任務は、村上内部の切りくずし工作の任務であった。晴信は上田原の敗戦や砥石崩れの大敗を経験し、地元の地理・情勢に通じた幸隆をして裏面作戦を展開させたのである。

信玄の砥石崩れの苦い経験から、本拠地真田に留まって村上の内部切り崩しに奔走していたのである。真田家の命運をかけて命がけの働きがなされたものでしょうが詳細は全く不明である。ともかく幸隆の懸命な働きが功を發して、天文二十年五月・ついに砥石城を攻略する事ができた。これを『高白斎記』は「五月大朔日戊子二十六日節、砥石城、真田が乗ッ取ル」と至極あつさりとして書いているだけである。

しかし、この「乗取」の言葉は幸隆の裏面からの切り崩し工作が成功したことを端的に物語っており、武田の大軍をもってしても攻略できなかった砥石城も、幸隆の才覚と懸命の働きの前に一夜にして陥落したわけである。

当然のことながら、千貫文の約束は守られたのです。この砥石城攻略の快挙は、幸隆にとって二つの意義をもった。一つは怨敵村上を破り本拠地真田を実質的に奪還できたのに加え、上田に千貫文の地を保障されたことであり、もう一つは武田配下としての地位を確立し以後の伸展に役立つようになった事である

白米城伝説

砥石城の支城である米山城には白米伝説がある。武田信玄が砥石城を猛烈に攻め、ついに水の手を絶った。守る村上義清勢は白米を馬の背に流して洗うふりをして、遠目には水は幾らでもあるように見せかけた。こうして信玄の猛攻を防ぎながら、義清は城を捨て越後に落ちのびていったと云う。米山城は砥石城から続く尾根が上田方面に突出した地点にあり、上田盆地が一望できる見晴の良い所。今も土を掘れば焼米が出るという。この米は初のまま煎った兵糧ではなかったかとも伝わる。

【注】当時 一貫文は玄米二石四斗七升として換算 上田藩は江戸時代を通して貫高制を用いた稀有な藩である。時代により換算率も相違あり。

(文責 沓掛真人)